

多焦点眼内レンズを用いた白内障手術は選定療養へ

白内障は、加齢プロセスの一環で、ほとんどの人が経験します。

しかし、近視や遠視、乱視なども一緒に改善できる、「治せる病」でもあります。

当院は2008年に多焦点眼内レンズを導入し、その翌年、県内初の先進医療認定施設となりました。それ以降、多焦点眼内レンズは多くの方に支持されてきました。生活スタイルに合わせたレンズを選ぶことにより、見え方の質が向上し、術後の生活の質も高まることが期待されます。

2020年4月より多焦点レンズを用いた白内障手術は新たに厚生労働省が定める選定療養が適応される事になりました。

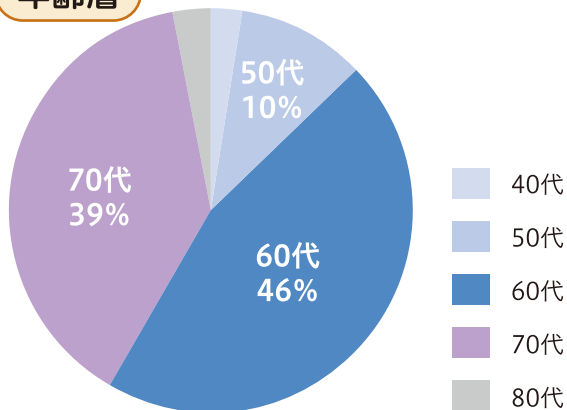
手術費用は保険診療ですが、用いる眼内レンズ代は患者様負担となります。選定療養制度を使用する事により、「多焦点レンズは高額過ぎて…」と悩んでいた患者様にもよりお求めやすい費用でご提供出来る様になりました。

今回は術後320名の方にご協力を頂いたアンケート結果を一部ご紹介します。

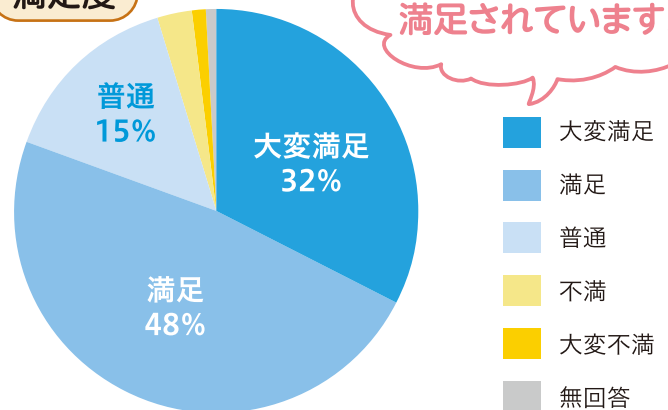
多焦点眼内レンズを選んでいる方の年齢層は？ 満足度は？

／320名アンケート結果

年齢層



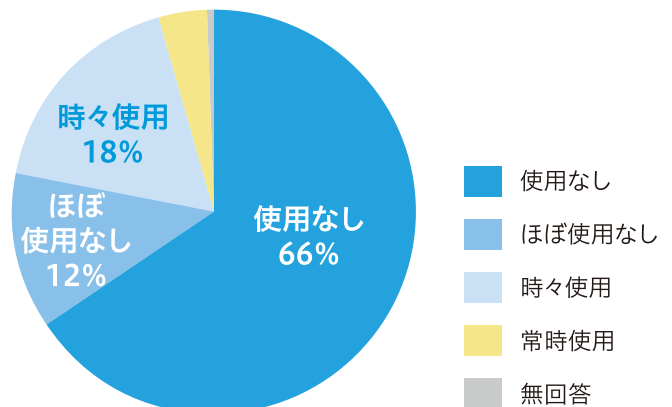
満足度



8割以上の方が満足されています!

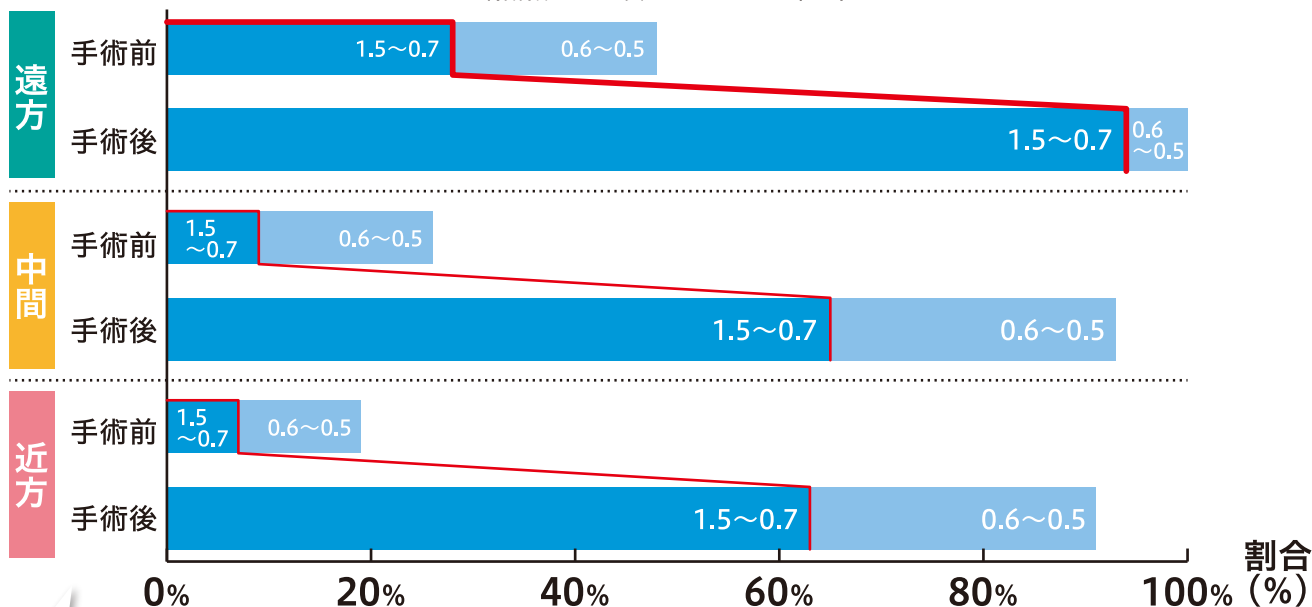
手術後の眼鏡使用頻度は？

使用ありの方は老眼鏡や度なしのサングラス。レンズの特性通り遠中に強い眼内レンズを選ばれた方は老眼を使用されています。日常生活に不自由はないと回答いただきましたが、細かな作業や暗所では見辛い場合があります。



当院でもっとも使用されている3焦点レンズの視力変化
手術後95%の方が遠方裸眼視力0.7以上!
 裸眼で運転できる視力まで回復されました

3焦点271眼 136名の結果



30cm視力表

0.1	○	○	○
0.2	○	○	○
0.3	○	○	○

こちらの視力表で簡易視力検査ができます。30cm離して見てください。

患者さまのお声



女性・73歳

ミシンの針が通るようになりました!どの距離も問題なく見えます。ただ、ホコリやシミも見えるようになって嫌になっちゃうわ(笑)



女性・67歳

こんなに近くがはっきり見えるとは思わなかった!高田院長の高い技術とレーザーメスの正確な切開で、スムーズな手術と術後の経過を送ることが出来た!



女性・72歳

手術前は老眼鏡を探していると電話が切れてしまっていた。これからは老眼鏡を探さなくてもよくなったので嬉しい!



男性・88歳

眼鏡なしで生活しています。眩しさも気になりません!



男性・60歳

裸眼で運転し、カーナビも操作できるので楽になりました。



女性・78歳

こんなに快適ならもっと早く手術すれば良かったと、我慢していた事を後悔しています。

多焦点眼内レンズの性能をより発揮するために、フェムトセカンドレーザーを用いた手術も行っております。まずは正しい知識を身につけて、治療の選択肢を広げて下さい。レンズの詳細はHPへ <https://www.takada-ganka.co.jp/> 皆様のライフスタイルに応じた最適な眼内レンズ選びをスタッフ一同全力でサポートします。



次号紹介

NEW! 世界初5焦点レンズ、
 2焦点連続
 焦点深度拡張型レンズを導入!